



自然素材に囲まれて

安らぎに満たされる。



「子どもが巣立てば物置になるから」と子ども部屋1人あたり3.75畳とコンパクト。勾配天井にロフトもあるので広く感じる

キッチンの奥に広めのパントリーを設け、冷蔵庫やレンジなどの家電や食品ストックは見えないようにデザイン。飾り棚にはお気に入りの雑貨を並べて



造り付けの棚は可動式になっているので、必要に応じて高さを変えて使うことができる。

キッチンのみならず、ダイニングの一角にあるスタテイススペースやリビングの飾り棚、洗面台や玄関の収納にいたるまで、この家の設備や家具の多くは大工や家具職人による造作。床はオーク、壁は漆喰という自然素材にこだわった住まいに似合うよう、あらかじめ同社女性建築士と相談して、何をどこに、どれくらい置くか決めて、サイズもデザインもオリジナルで設計。キッチンや収納カウンター、デスクなどの家具収納はタモ、本棚は杉の無垢材と素材にもこだわり、空間全体の素材や色、デザインを統一した。「工事中も大工さんが『こうしたほうが使いやすいんじゃない』と現場から提案をしてくださって、収納の棚はめいっばい大ききしようとか、子ども部屋のロフトの手すりももう少し高くしようとか、リビングの棚に家電のコード用に穴を開けましょうとか、使い手目線で建ててもらえなかったら良かったです。」

整ったインテリアコーディネートに加え、このように間接照明を取り入れて陰影をつくることで空間に立体感も生まれた。こうして勾配天井とも相まって28坪の平屋とは思えないほどの広さや奥行きを感じられる住まいが完成した。



favorite!

わが家のここがお気に入り!

【キッチン】

収納もキッチンもすべて家具職人による造作。作業がしやすいように幅や奥行きもより風位で考えて設計されている。コンロはレトロで機能的なデザインが美しいハーマン。床は水に強いタイルをセレクト

「家族の胃袋を支えるコックピットで『つくるモード』はスタンバイOK。」

キッチンも収納家具も洗面台もすべて造作でコーディネート。特にこだわったのはキッチン回り。夫や子どもと一緒にキッチンに立てるよう作業スペースを広くとるためにL字型に、コックピットのイメージで、窓際にシンク、壁際にコンロ、ダイニングとの間にカウンターを置くことにしました。キッチンや収納カウンターはすべて家具職人の手による造作。コンロや流しの下は扉をつけず、あえてオープンに。湿気がこもりにくく、鍋を取り出しやすくなるうえに、お気に入りのアイテムが並ぶ風景がつくり手のモチベーションも高めてくれる。反対に、生活感が出てしまいう冷蔵庫やレンジといった家電や使いかけの食料品などはリビング側からは見えないようにパントリーコーナーに収納。